

県内の死亡事故の特徴

1 死者の年代別：高齢者が7割以上

年代別では、65歳以上の高齢者が52人で、7割以上を占める。

高齢者52人のうち、歩行中が22人、自転車乗用中が10人、四輪運転中が9人、二輪運転中が6人、四輪同乗中が5人である。

2 死者の状態別：四輪乗車中が最多

死者の状態別では、四輪乗車中が27人と最多で、次いで歩行中が25人と多い。

四輪乗車中27人のうち、運転中が20人、同乗中が7人である。

歩行中25人のうち、横断中が23人（車から見て、右から左が13人、左から右が10人）、路上横臥が1人、列車事故が1人である。

3 昼夜別：昼間が多い

昼夜別では、昼間が36件で多い。